

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	南島原市スマート農業推進協議会		代表者名	内田繁治	
担当者部署	事務局		連絡先電話番号	0957-73-6661	
担当者役職	事務局員	担当者氏名	小関克稔	連絡先E-mail	
住所	859-2202 長崎県南島原市有家町山川58番地1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	南島原市	連絡先部署	農林水産部農林課		
担当者氏名	小関克稔	連絡先電話番号	0957-73-6661	連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	原 亮
評価	大変よい

上記評価の理由（どのよう
なところがよ
かったか等詳
細に）

アドバイザー
への要望事項

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年12月16日	支援・助言(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			9時00分	17時00分	60
			活動時間（分）	420	
3-2. 派遣場所	会場名	旧長野小学校	最寄駅	島原港駅（島原鉄道）	
	所在地	長崎県南島原市西有家町長野1776	最寄駅からの交通手段	事務局による自動車での送迎	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	情報学部の大学生、IT企業、県・市職員	13人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	長崎県のような農地面積が狭い地域においては、生産規模やコストに見合った画期的な農業DXのソリューションが、ほぼ無い状況にある。このため、農業の課題解決ができる農業DXのソリューション創発を目的として、学生・IT企業・地域農業に関わる行政職員がチームでアイデアを出し合う「アイデアソン」を実施する。しかし、DXのソリューション創発に伴うアイデア出しについて、知見やノウハウが不足している。	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	農業の課題解決ができる農業DXのソリューション創発に伴い、生産性向上及び労働力の削減に繋げることにより、魅力ある農業を目指すことと併せて、学生やIT企業に農業に関心を持っていただく。	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	農業の課題解決ができる農業DXのソリューション創発に繋がるよう、趣旨に沿った多くのアイデアが求められる。これまでアドバイザーが培ってきたアイデアソン実施のノウハウにより、IT活用に伴うアドバイスと併せて、アイデア出しの考え方・ポイント・手法・まとめ方まで、一貫して支援を受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	解決まで至っていない段階ではないが、アドバイザーの支援により、農業の課題解決ができる農業DXのソリューション創発の趣旨に沿った複数のアイデアが提案された。今後、主催メンバーで、そのアイデアをどう実現していくか議論を進める。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 農業の課題解決ができる農業DXのソリューション創発の趣旨に沿った複数のアイデアが提案された。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今後、主催メンバーで提案されたアイデアをどう実現していくか議論を進める。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	生産性向上及び労働力の削減に寄与できることにより、続けたい・規模拡大したい・就農したいなど、魅力ある農業を目指す。	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

